

システム、ハード、ソフト全プロセスに渡るシステムプロセス監査の実施
～車載機能安全規格要求への対応～

Development process audit for system, hardware, software
～for automotive functional safety～

菅沼 由美子

suganuma.yumiko@jp.panasonic.com

パナソニック株式会社 デバイス社 電子部品・電子材料事業グループ
品質改革センター 品質保証グループ 設計品質チーム

発表要旨：

ソフトウェアを含むシステム製品の開発においては、上流での設計が製品の QCD を左右するが、自動車用デバイスにおいては、近年の車載製品の短納期化により、ソフトウェアの品質確保のためには、上流でのハード／ソフト開発プロセスの整合強化が必要となっていた。また、車載 E&E 製品について ISO26262（自動車機能安全規格）が制定され、対象の製品開発においては、ソフトウェアのみでなく、システム、ハードウェアを含む製品システム全体に渡る、機能安全に関する説明責任を負うことになった。

そこで、車載のシステム部品においては、機能安全要求を満たせるシステム、ハード、ソフトの開発プロセスの定義と、その遵守を保証する監査の仕組みが必須となった。

本発表では、システム、ハード、ソフトの開発プロセス遵守監査と、ISO26262 要求事項の監査の方法について紹介する

キーワード：

監査、システム、ソフトウェア、ハードウェア、ISO26262、車載機能安全

想定している聴衆

SQA、SEPG、開発者

発表者の紹介（全角 100 文字）：

半導体メモリ、白物家電制御アルゴリズムの設計開発、ソフト開発プロセス改善の後、SQAを担当して 5 年目。益々高くなる品質要求に応じた品質保証の仕組み化を通し、お客様、開発者、皆様のお役に立ちたいと思う昨今。

* 副題は不要であれば行ごと削除してください